

## ●ロカベンを核とした人材育成と地域企業支援

- 名称：高崎信用金庫
- 愛称：たかしん
- 代表者：理事長 新井 久男
- 本店所在地：群馬県高崎市飯塚町1200-1
- 創立：大正3年7月1日
- 出資金：14億59百万円
- 役職員数：364名
- 会員数：28,188名
- 預金：4,781億円
- 貸出金：2,271億円
- 店舗数：29店舗(うち出張所3)  
※平成31年3月末時点

### 導入経緯

#### ロカベン導入のポイント

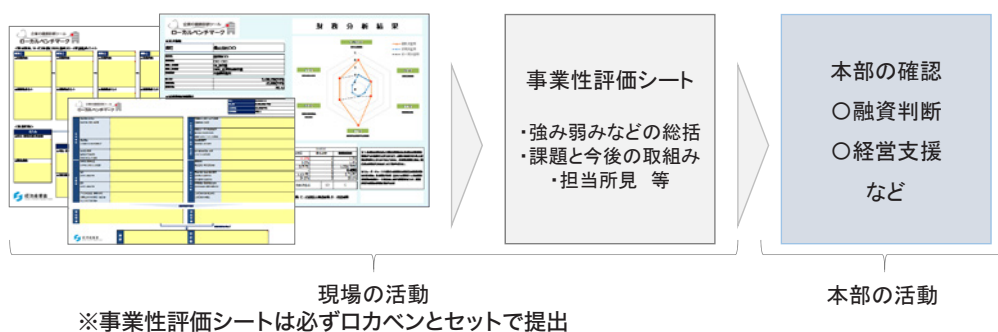
平成28年度から独自の事業性評価シートを導入し、事業性評価の取り組みを行ってきたが、平成29年3月にロカベンの「商流・業務フロー」の対話シートが改善されたことを機に、ロカベンの導入を決定した。選定のポイントとして主に以下の2点があげられる。

- ①取引先企業の事業内容に対する理解を深めるため、ロカベンの商流・業務フローを作成し、対話ツールとして活用することが効果的であると判断した。



業務フローや商流に「差別化ポイント」や「選んでいる(選ばれている)理由」を確認する項目があり、非常にお客様の事業を理解するために活用できると感じた

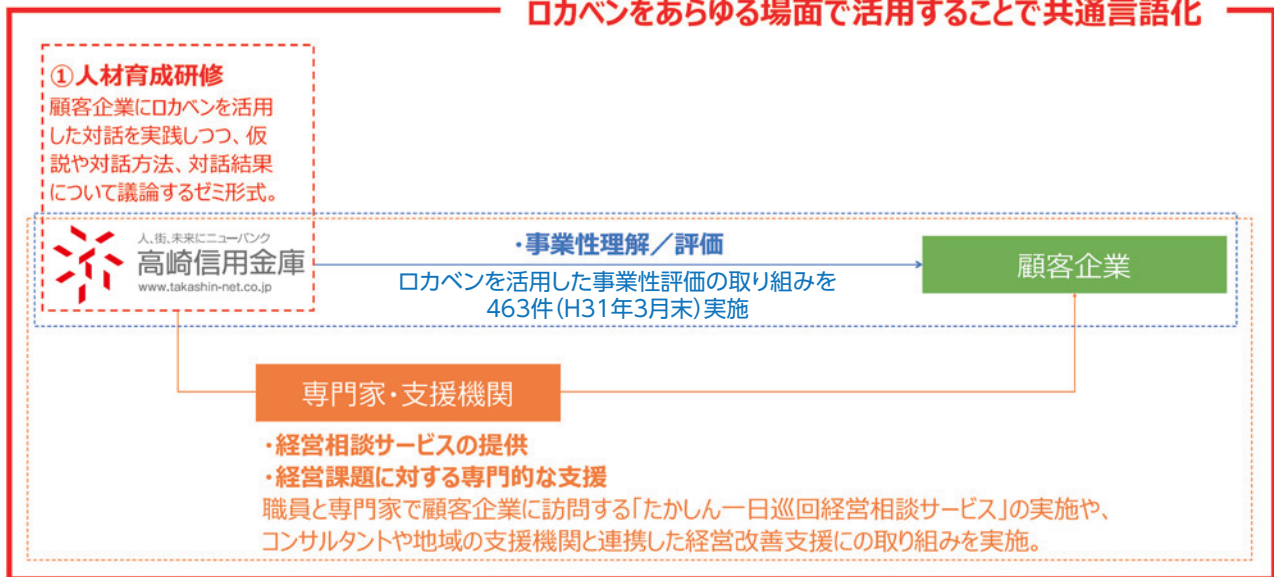
- ②事業性評価シートを既に導入していたが、ロカベンを活用することにより事業内容への理解がより一層深まると考え、ロカベンを事業性評価シートとして対応し、当金庫独自の事業性評価シートは、最小限の帳票(1枚)のみとした。



## 取り組み体制の構築

ロカベンを導入後、多様な場面でロカベンを活用。人材育成や企業向けサービス、事業性評価、外部機関との連携などあらゆる場面でロカベンを活用することで、共通言語化されると共に、人材育成と顧客サービスレベルの向上に効率的に繋げていく仕組みを構築。

### ロカベンをあらゆる場面で活用することで共通言語化



## 効果

### ●事業性評価による融資件数／金額ともに増加

平成29年度からロカベンを活用した事業性評価の取り組みをスタート。これまで平成29年147件、30年216件と増加傾向にある。事業性評価を審査に活かすことにより、幅広い層に対し、リスクに見合った金利を付利しつつ、融資対応をしている。

### ●事業性評価の取り組み自体が顧客企業との強固な関係構築

従来にも増して、顧客企業の本業に踏み込んだ対話が行えるようになったことで、顧客企業からの信頼も向上し、経営相談などの件数が増加している。一番に相談してもらえる強固な関係づくりができている企業が増加している。

### ●地域の支援機関等との連携

顧客企業の経営改善に取り組むために、庫内で解決できない内容であっても外部コンサルタントや支援機関などとの連携を広げている。連携先の特徴を把握し、より効果的な顧客企業の支援が行えるようになっている。

### ●人材育成・ヒアリング力・目利き力といった効果

庫内で取り組んでいる人材育成研修や専門家と同席しながら学ぶOJT形式の取引企業支援、個人個人による事業性評価の取り組みといった活動を通じ、顧客企業の強みや課題を把握できる目利き力が向上している。

## 金融機関の声

顧客企業に関するあらゆる面でロカベンが中心となることで、事業性への理解や経営改善支援、融資判断や格付の実施など、どのような業務においても情報を活かすことができていると考えている。

取り組みを開始して2年が経過しようとしているが、さらに多くの顧客企業に実施し、また、一度実施した先についても決算書ができるタイミング等で2度目、3度目の対話を行っていく方針。当初は労力がかかるものの、情報の蓄積と更新を行っていくことで業務効率も改善していくのではないかと考えている。